令和 8 年 11 月吉日

第 3 回水工学若手研究会参加者各位

第 3 回水工学若手研究会のご案内

拝啓　向寒の候、皆さまにおかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は第 3 回水工学若手研究会へお申し込みいただきありがとうございます。本研究会は水工学関係の学生・若手研究者・若手技術者を対象に、各分野(河川、基礎水理、環境水理、水文)の若手が交流を深め、若手間のつながりを強化することを目指すための企画(水工学若手研究会と称します)であり、フランクかつラフな雰囲気の中での意見交換やネットワーク形成を目指します。

以下に詳細をご案内いたします。内容をご確認のうえ、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 開催概要

開催日：2026 年 11 月 29 日（日）

対象者：水工学関係の学生、若手研究者、若手技術者

第一部（勉強会）

フランクかつラフな雰囲気での発表や意見交換、コーヒーブレイク・雑談を通じて、若手間の交流を深める場を提供します。水工学講演会での発表前に練習したい方、研究の相談をしたい方、様々なフィードバックを受けたい方など、是非ともこの機会をご活用ください。

場　所：北九州国際会議場（〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目 9-30）

時　間：14:20-17:45（14:00 受付開始予定）

参加費：500 円

服　装：自由（ラフな服装でご参加ください。）

発　表：持ち時間は 1 人あたり 15 分です。発表者はプログラムをご確認いただき、発表時間までに各ブースへお越しください。

備　考：コーヒーブレイク・雑談コーナーは、勉強会開催中いつでもご利用可能です。各自、お好きなタイミングで休憩をお取りください。

第二部（懇親会）

場　所：居酒屋トリトン 本店（https://maps.app.goo.gl/WV9jisEVC8WfeusV7）

時　間：19:30–21:30

参加費：3000 円

備　考：当日は現地にご参集ください。勉強会参加者の方は、勉強会受付にて懇親会の受付も

行います。また、出席変更希望の方は、11 月 27 日(金)正午までにご連絡ください。

2. 問合せ先

ご質問・ご不明点・ご要望などがございましたら、ご質問・ご不明点・ご要望などがございましたら、右記の QR コードまたは下記の URL にアクセスし、お問い合わせください。運営・準備の都合上、早急に対応できない場合がある点をご容赦いただけると幸いです。

問合せ先: https://forms.gle/YgNVf8XUPVJYZMmC8

3. 備考

・ 本企画は、水工学委員会執行部、水工学委員会各部会長、第 71 回水工学講演会現地実行委員会のご協力のもとで実施されます。
・ 本企画が水工学分野の活性化と若手の研究意欲向上に貢献することを期待し、次年度以降も水工学講演会開催前後の日程を利用して継続的に実施することを予定しております。
・ 本企画で収集された個人情報につきましては、本企画の実施および運営の範囲内で使用します。

以上

＜第 3 回水工学若手研究会取りまとめ役（敬称略、五十音順）＞

井野川七虹(東北大学)、大中臨(山口大学大学院)、岡地寛季(中部大学)、
笠原豪(東京都立大学 D2)、河野誉仁(鳥取大学)、佐藤柳言(日本大学)、
普神素良(京都大学)、松本知将(京都大学)、宮本真希(北海道大学)

別紙

プログラム

ブース 1

開会の挨拶（14:20~14:30）

セッション 1(14:30~15:30) 司会:松本 知将 (京都大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
14:30~14:45	今村 優一郎 （北海道大学）	中央に樹林帯を有する河道流れの線形安定解析
14:45~15:00	北村 裕和 （長崎大学）	塩類集積潜在リスクの全球分布推定
15:00~15:15	中村 清士朗 （東京都立大学）	時系列情報を考慮した CNN による降雨量予測補正手法の比較
15:15~15:30	茂木 大知 （東京大学）	砂州が発達する過程の流体場の変遷について

～特別企画：IAHR-YPN 設立に向けて～（16:00~16:10）

セッション 2(16:15~17:30) 司会: 松本 知将(京都大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
16:15~16:30	小谷 隼人 （広島大学）	森林水文，山体地下水，地下水位変動，気候変動
16:30~16:45	塩入 由梧 （岐阜大学）	LES による礫床開水路乱流における河床面圧力変動特性の検討
16:45~17:00	行貝 高虎 （東京大学）	水同位体、降水同位体、データ同化、再解析、気候変動
17:15~17:30	福丸 大智 （山口大学）	適合格子細分化法に基づく氾濫解析の試み

閉会の挨拶･集合写真撮影（17:35~17:45）

ブース 2

セッション 1(14:30~15:30) 司会: 河野 誉仁(鳥取大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
14:30~14:45	松尾 大地 （広島大学）	加速解析を用いた通常の解析結果の予測
14:45~15:00	小路 琢人 （北海道大学）	気候変動、治水、費用便益分析、社会的割引率
15:00~15:15	成瀬 諒紘 （京都大学）	建物前面水深の比エネルギー推定に基づく建物流体力評価式の数値解析への接続条件
15:15~15:30	国友 悠登 （法政大学）	水文気象，線状降水帯，MOONSHOT 型研究開発事業，河川工学，減災

セッション 2(16:15~17:30) 司会: 佐藤 柳言(日本大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
16:15~16:30	熊谷 拓時 （東京都立大学）	カンボジア・プノンペンにおける洪水リスク評価に向けたハザード分析と展望
16:30~16:45	加藤 新太 （鳥取大学）	ジェネレーティブデザイン、河道計画、河川環境、河道形状、多自然川づくり
16:45~17:00	佐藤 桃樹 （名古屋工業大学）	水底に堆積するヘドロの層厚・空間分布の計測技術開発とその実地検証
17:00~17:15	吉塚 悠登 （中部大学）	地下河川を考慮した庄内川の洪水対策に関する研究
17:15~17:30	伊藤 毅彦 （北海道大学）	日本，オランダ，気候変動，洪水リスク

ブース 3

セッション 1(14:30~15:30) 司会: 大中 臨(山口大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
14:30~14:45	笠原 豪 (東京都立大学)	格子ボルツマン法，埋め込み境界法，密度流，
14:45~15:00	松嶋 慎二 (福岡大学)	地下空間の浸水に関する研究
15:00~15:15	松本 紘実 (北海道大学)	日本全国を対象とした旧河道の洪水脆弱性と人的被害ポテンシャル評価
15:15~15:30	宋 叡均 (広島大学)	流砂、混合粒径、岩盤河川、水路実験

セッション 2(16:15~17:30) 司会: 井野川 七虹(東北大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
16:15~16:30	松井 春樹 (京都大学)	汎用的な内水氾濫シミュレーション実現に向けた研究
16:30~16:45	石原 知咲 (九州大学)	雪水比推定パラメータの地域特性と気候変化の影響に関する検討
16:45~17:00	大埜 健吾 (東京理科大学)	谷津，グリーンインフラ，降雨流出，流域治水
17:00~17:15	大西 啓仁 (中部大学)	暴風時における海面抵抗係数の変化を考慮した数値気象モデルを用いた感度実験
17:15~17:30	井上 隆 (広島大学)	オイラー型混合粒径粒状体モデルの開発に向けた鉛直分級実験

ブース 4

セッション 1(14:30~15:30) 司会: 普神 素良(京都大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
14:30~14:45	木戸 理歩 （広島大学）	土砂流出，気候変動
14:45~15:00	坂東 遊 （東京理科大学）	交互砂州、室内実験，河床変動，砂堆
15:00~15:15	松原 侑暉 （九州大学）	マレーシア・Masai における魚類群集と水質・土地被覆の関係
15:15~15:30	岡地 寛季 （中部大学）	台風

セッション 2(16:15~17:30) 司会: 笠原 豪(東京都立大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
16:15~16:30	釜坂 結奈 （東京理科大学）	地震・津波，地震・洪水マルチハザードによる建物被害要因分析（現地観測，氾濫解析），耐水害対策の検討（模型実験）
16:30~16:45	武内 宏一郎 （東京農工大学）	圧力波を用いたパイプラインにおける漏水シグナル検出の自動化と高精度化
16:45~17:00	杉浦 光 （中部大学）	熱帯低気圧の移動速度変化とその要因および降雨量との関係
17:00~17:15	向井 柊作 （埼玉大学）	非定常流量下における交互砂州の挙動が横断方向流速や波高発達に及ぼす影響
17:15~17:30	宮本 真希 （北海道大学）	大雨、気象

ブース 5

セッション 1(14:30~15:30) 司会: 宮本 真希(北海道大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
14:30~14:45	伊東 和輝 (広島大学)	開水路乱流，LES，VOF，水面変動
14:45~15:00	岡 修平 (中部大学)	四日市市を対象とした内水氾濫の数値解析モデルに関する検討
15:00~15:15	石橋 大翔 (東京理科大学)	リアルタイム車両通行データ，内水氾濫，浸水把握，令和 8 年 8 月千葉豪雨
15:15~15:30	内村 在誠 (京都大学)	d4PDF と 2 変量一般化パレート分布を用いた上下流間における河川流量の極値従属性の分析

セッション 2(16:15~17:15) 司会: 岡地 寛季(中部大学)

時間	発表者	タイトル/キーワード
16:15~16:30	川浦 朝日 (東京理科大学)	詳細都市特性を組み込んだ全球気候計算手法の確立と広域気候への都市影響評価
16:30~16:45	竹田 芽生 (九州大学)	d4PDF に基づくハイドログラフパターンが有明海の貧酸素水塊の消長に及ぼす影響の数値解析
16:45~17:00	大瀧 晴登 (千葉大学)	気象制御、アンサンブル感度解析、洪水、計画洪水
17:00~17:15	﨑山 賢人 (中央復権コンサルタンツ・京都大学)	逆線引きの導入が都市構造と洪水リスクに与える長期的影響の分析